

平成30年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 板山 浩一

○ 平成30年度重要事業

事業名	地域医療の確保と健全な病院運営の推進
目 標	地域医療を担う病院として、市民の健康と命を守るための救急医療、急性期医療に加え、リハビリなどの回復期医療から在宅医療まで、安全・安心な医療の提供に努めます。また、引き続き経営の効率化を図りながら、持続可能な病院運営に努めます。
年度末達成状況	急性期病棟や在宅等からの地域包括ケア病棟への患者受入れ、また地域包括ケア病棟から在宅等への復帰支援など、安全・安心な医療を提供しました。また、経営コンサルタントの支援を受け、病棟の効率的な運用による経営健全化に努めました。
自己評価	急性期医療と回復期医療の両方を整えることにより、市民に安全・安心な医療を提供することができました。引き続き、経営の効率化を図りながら、持続可能な病院運営に努めてまいります。

事業名	地域包括ケア病棟の効率的な運用
目 標	地域包括ケア病棟を対象とした診療報酬改定への対応を的確に行うとともに、県内屈指の規模を持つ地域包括ケア病棟の魅力を高めるため、デイルームや廊下の改修を行い、患者さんが安心して在宅復帰できる環境を整備し、効率的な運用につなげます。
年度末達成状況	地域包括ケア病棟の廊下とデイルームを明るい色調に改修するなど入院環境の整備を行い、入院患者の皆さんが安心して在宅復帰できる環境を整えました。
自己評価	当初目標のとおり、地域包括ケア病棟の入院環境を整えることができました。引き続き、地域包括ケア病棟の効率的な運用を進めてまいります。

事業名	地域連携と広報活動の強化
目 標	開業医や他病院との連携をより一層進め、紹介患者の増加に努めます。また、病院広報誌を全戸配布するとともに、スマホ対応も可能となったホームページの活用や、市民講座の開催、出前講座の実施など、病院の積極的な広報活動を展開します。
年度末達成状況	病院広報紙の全戸配布や市民公開講座・出前講座の実施など、活発に広報活動を展開しました。また、「射水市民病院地域連携懇談会」を開催し、市内開業医の方々との連携強化により地域医療発展を目指しました。
自己評価	当初目標のとおり、様々な広報活動を実施することができました。これからも地域連携を進めながら、市民の皆様から最も親しまれ信頼される市民病院を目指してまいります。